

コロナ対策のガイドラインに対応しながらかなり学習活動の幅は広がってきています。

★子どもたちの活動がかなり広がってきています！

9月のPTA運営会議では11月のPTA秋祭りについて意見交流を行っています。感染症対策を取りながら昨年から一歩進んで、子どもたちの体験や遊びの場を少し増やしていこうという流れになりました。詳細についてはまだ計画段階ですが、子どもたちのたくさん笑顔が見られるようにみんなで取り組んでいきたいと思えます。

★「使ってみよう！」から「効果的に使おう！」へ

学校内でのタブレット活用状況は大きく進んでいます。昨年はとりあえず授業の場で使ってみる…といった状況でしたが、本年度になって効果的な活用へと進んできました。タブレットはノートであり、鉛筆であり、黒板でありとなってきています。ある学級の算数の授業です。タブレット上で解いた問題を先生のタブレットに提出します。提出された解答を今度は子どもたちどうしで交流します。この時、発表する子どもの解答がみんなのタブレットに映り、そして発表…昔は書いたノートやホワイトボードを見せて説明していたものです。手慣れた手つきでタブレットを操作する子どもたち…授業方法そのものがかわっていきます。



道具として活用されるタブレット

お知らせ

多田林産株式会社より跳び箱を寄贈していただきました。

これは筑邦銀行SDGs 私募債「ちくぎん地域応援私募債」という地域社会を応援していこうという取組で、今回の跳び箱は多田林産株式会社様のご好意で寄贈していただいたものです。

この跳び箱は「トランスフォーマー跳び箱」といって、災害時に緊急にベビーベッドに組み替える（写真の跳び箱上部に、ベッド用のシートを装着する）ことができる優れものです。使うことがないのが望ましいことですが、万一の備えとして心強い備品となりました。

関係の皆様にご感謝申し上げます。



上部を逆さまにしてベビーベッド

※9月15日に登校したはずの本校児童の所在が、朝からわからなくなるといった事案が起きました。警察署と連携をしながら、所在が確認でき解決に至りました。防災無線で情報が流れたことで、地域、保護者の皆様にご心配をおかけしました。学校として当該児童等に事実でない憶測や噂が広まることのないように配慮しておりますのでご理解をお願いいたします。

また教育委員会、警察と協議し、緊急性、事件性が高い時は、安心メール等でお伝えすることがあるかもしれません。地域の皆様には、子どもたちの安全・安心のために常に見守りしていただいていることにあらためて感謝申し上げます。